

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市あじさい大学運営委員会(令和元年度第1回)			
事務局 (担当課)		健康福祉局保険高齢部 地域包括ケア推進課 電話 042-769-9231(直通)			
開催日時		令和元年8月6日(火) 14:00~15:30			
開催場所		相模原市民会館 第2中会議室			
出席者	委員	11名(別紙のとおり)			
	その他	3名(相模原市シルバー人材センター)			
	事務局	7名(保険高齢部長、地域包括ケア推進課長、他5名)			
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数	なし
公開不可・一部不可の場合は、その理由					
会議次第	1 あいさつ 2 議題 (1) 委員長及び副委員長の選任 (2) 令和元年度あじさい大学の概要について (3) 令和元年度あじさい大学事業計画について (4) あじさい大学の見直しについて (5) その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員長の発言、 は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

保険高齢部長あいさつ

3 議題

次第に沿って、地域包括ケア推進課長の進行により議事が進められた。

(1) 委員長及び副委員長の選任

相模原市高齢者大学設置運営要綱(以下「要綱」という。)第5条第6項の規定に基づき、委員の互選により小林政美委員が委員長に選任された。

要綱第5条第7項の規定により、以後、議長である小林委員長の進行により議事が進められた。

要綱第5条第6項の規定に基づき、委員の互選により安藤正義委員が副委員長に選任された。

(2) 令和元年度あじさい大学の概要について 及び(3) 令和元年度あじさい大学事業計画について

事務局から資料に基づき一括して説明を行い、了承された。

【主な質疑】

授業が6月に始まり、園芸科では植え付けや剪定など毎回楽しくやっている。しかし、植物を育てる上で一番大切な種まきや苗を育てる期間に学べないので、入学や授業の時期を1ヶ月でも早められないか。難しさがあることは承知しているが、4月は学問や何かを始める習慣が身に付いているということもあり、検討してほしい。

賛成である。1年で行っている講座を2年にすることなどで、種まきからの一連の流れがすべてできるスタイルの講座があってもいいのではないかと。

年度末で切れるという社会の風潮があり、そのあたりをどうするか。

参加者からは、早くから勉強したいのだろうと思う。しかし、年間計画ということからすると、行政では、次年度の計画を前倒しではなかなかできず、無理がある。何か工夫をすることは、今後の課題であろう。

あじさい大学そのものは、全般的に導入編ということだと思う。興味を持ったら、次には民間の農園などで最初からということになる。あじさい大学は、楽しい講座で生きがいになるような趣味ができるのだと思えばいいと思う。

時期を早めることについては、会場のスケジュールと講師との調整があり、来年度に向けては厳しい。できるかできないかを含め時間をかける必要があり、再来年度に

向けて、検討したい。

また、入学式が5月下旬では遅いという意見が事務局内にもある。手続きや会場予約、講師の日程等の見直しについても、後ほど議題となる見直し部会で意見を頂きたいと考えている。

開始時期については、園芸だけではなく、勉強しようとするには遅い。応募の減っている原因のひとつとして、あじさい大学の募集が、3月、4月から始まる他の事業等に応募した後になってしまうこともあると思う。難しいと言っておらず、半月でも1月でも早めることを検討してほしい。

例えば園芸であれば、種まきではなく寄せ植えにするなど、授業内容を工夫することによって5月から授業が始まって大丈夫なのではないか。

変えるのはいいのだが、種をまくという植物の成長の一番大切な部分が抜けているということを受講生も講師も感じている。

受講して楽しくなり、基礎からもう一回やろうというときには、民間の講座や新たな講座などでできる。また、園芸の場合では、時期についても苗などの種類によってできるものがあるのではないか。興味を持てれば、あじさい大学としては良いのではないか。共通部分がある。このことについては、今後検討することとする。

高齢者は増えるが、受講者は減っているという実情がある。委員会で昨年度いろいろ検討した際には、定年が60歳から65歳になり、70歳になってもまだ働いている人がいて、なかなか講座に出られないということで減っていくと思った。しかし、もっと興味を持てるように、どうしたら受講するのかをもう少し考える必要があると思う。講座を出前でやってくれれば受けたいという声もある。

パソコン科についてだが、進むのが結構早く、同じことをやってもわからない人が出ている。講師も大変だと思う。ミーティングがないが、どのようなところがわからないのかなど、意見を講師に伝えることも大切だと思うので、受講生の意見も聞いてほしい。また、応募者が少なくなっていることに関連するが、今まで受講した人、卒業生の満足感がどの程度あったのかわからない。

講師に加えてアシスタントもいるのなら、どんどん聞いたらいいのではないか。

一度聞いてわかる人と、そうではない人とに差がある。アシスタントは何人かいるが、そこを教えている間に少しずつ進んでしまうので、追いつけなくなる。

受講生の気持ちを聞きながら展開していくと、やめていく人も減るのではないかと。満足感があってやっているのかが見えない。

アンケートについては昨年も説明があったと思う。

あじさい大学修了時には、学生からアンケートを取っている。最後まで受講した人のアンケートであり、満足しているから最後まで残っているということもあるのか、90パーセントを超える満足度がある。途中でやめた人は、身体的理由や介護の理由などが多いが、その他の理由について掘り下げることができれば、今後やってみたい。

また、学科によっては進行状況にかかわらずうまく進むものもある。パソコンでは積み上げが大切なので、今の意見については、可能な範囲でパソコン講師に伝えたい。

高齢者が育ってきた過程においてあまりなじみのないものがパソコンであり、どのようなことをやるのか不安だと思う。以前、敷居を低くするために卒業生の声を提案したところ対応してもらえた。

パソコンの場合、トリミング、コラージュ、スライドショーなどと言われても、初心者にはわからない。例えば、「パソコンで年賀状を作ってみませんか」とか、「招待状を作ってみませんか」「町内会のチラシを作ってみませんか」などを学科紹介に入れると、今年自治会の役員だから町内会の回覧をワードで作ってみようかなど、取り組もうとなるのではないか。「こんなことをやってすごく面白かった」とか、「目からうろこ」という感じの音が載ると違うのではという気がする。

良いアイデアだと思う。パソコン学科は1から5までであるが、ランク分けなのか。

内容は初心者向けのもの。1から4までは会場が異なる。5はデジタルカメラ関係の内容となっている。

パソコンに関して、具体的に「年賀状の住所録から作りませんか」などとすると、応募人数も増える気がする。年賀状では、手書きではなくパソコンでやりたいという方が多い。初心者が一番住所録から入りやすく、時期も5月か6月からだと、ちょうど勉強しながら暮れに間に合う気がするので、一番実用的に使えるような事業になるという感じがする。

パソコン科では、案内状のようなものを始めたばかりである。年賀状もこれからやると思う。これまでに感じたものを発言した。卒業時には90パーセントの人が良かったと答えるかもしれない。

学科紹介の中に具体的なものが入るといい。参加者の声の中で、こんなもの作った、あんなもの作ったということが出ているとわかりやすい。

民間や公民館で、あじさい大学がやっている講座と同じものを行っている。それとの関係はどうなのか。あじさい大学に入学しなくても、地元でほとんどできてしまう。それが今の時代である。民間に頼めるものは民間にやってもらい、大学は本当に先端をいくような考え方でやっていかななくてはと思う。あじさい大学にみんなに一回は入ってもらって、自分の人生を深めるための道具として使ってくださいと言えるようになりたい。

(4) あじさい大学の見直しについて

事務局から資料に基づき説明を行い、了承された。

また、質疑終了後、要綱第6条第2項の規定に基づき、あじさい大学見直し検討部会の構成員について、委員選出区分の割合及びこれまでのあじさい大学への関わりを勘案して、委員長が次の6名を指名し、了承された。

あじさい大学見直し検討部会構成員(6名)

安藤副委員長、堤委員、小林委員長、池田委員、川上委員、佐々木委員

【主な質疑】

令和元年度の取組みについても工夫され、非常に評価できる。見直しを図るに当たり、課題の抽出ということで資料に具体的に示されているし、本日、委員からの意見も出ている。民間企業との差別化も課題の中に入っているし、あらゆる視点を重視しながら、うまく検討ができたらと思う。

民間での様々なものの普及や嗜好の広がり、前期高齢者はまだ高齢者ではないという状況になったときに、あじさい大学をどのような形にしていくのか。ここで一気に解決はできないかもしれないが、1年かけて検討し、さらに令和3年には新たなスタートができるというタイムテーブルを持っていければ、あじさい大学がより良いものになるのではないかと思う。

今回の見直しの案と、先ほどの意見を第1回の見直し検討部会の中で、たたいていくという形で対応していきたい。

(5) その他

特になし。

閉会

次回委員会は、あじさい大学見直し検討部会の進捗状況を踏まえ、調整することとした。

あじさい大学運営委員会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	小林 政美	社会教育委員会議 委員	委員長	出席
2	安藤 正義	老人クラブ連合会会長	副委員長	出席
3	大久保 祐次	社会福祉協議会理事		欠席
4	高橋 美登利	老人クラブ連合会副会長		出席
5	関田 勝利	民生委員児童委員協議会常任理事		出席
6	堤 道子	民生委員児童委員協議会常任理事		出席
7	高井 登志子	公民館連絡協議会副会長		出席
8	八木 朋子	学識経験者		出席
9	池田 直道	市文化協会 会長		出席
10	川上 宏	市体育協会 常務理事		出席
11	平岡 亮一	講師代表（健康1）		欠席
12	大沼 ケイ	講師代表（健康8）		欠席
13	佐々木 務	学生代表（PC1）		出席
14	三浦 興己	学生代表（園芸1）		出席